

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立川口北高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校評価懇話会での意見等を活用して、「知性と教養を身に付ける」という文言を加えるなど、今年度見直しが図られている。生徒の実態や学校の現状に応じた適切なものであり、学校の目指す方向が明確に示されている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	今年度見直した目指す学校像を踏まえ、中期的な視点から重点目標の見直しが図られている。目指す学校像の実現に向けて重点化された適切なものとなっており、地域の期待や生徒の実態など学校の状況を踏まえたものとなっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	「学校自己評価システム・教職員人事評価関係 年間スケジュール」を新規で作成し、学校・分掌・学年・個人等の目標の連鎖を図りながら、重点目標達成のための取組が進められている。分掌・学年間の連携を一層図り、よく議論しながら、具体的な評価項目や方策について検討する体制を更に整備していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	「授業研究週間」など授業改善につながる組織的・計画的な取組が増えてきて、進学実績の向上など成果も上がっている。評価指標については、方策の達成イメージを共有しにくいものもあるため、取組指標と成果指標をうまく組み合わせ、より判断しやすく分かりやすいものとするのが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状と課題を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、職員会議等で課題解決の方向を教職員へ継続的に発信している。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が更に共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として一層組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	年度評価や学校関係者評価などを基に、取り組むべき課題や改善策が示されている。取組の達成度が明確に分かるように達成状況の検証を工夫して、次年度のより具体的な取組につなげ、「最高レベルの教育」の実現に向けてスパイラルアップを図るようにしていただきたい。	
特記事項			